まつえ 市議会だより

No. 62

2024
11月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER

11月定例会 補正予算、条例改正 P2～4

11月定例会一般質問 24人の議員が質問 P8～13

特別委員会報告 まちづくり対策特別委員会視察報告ほか P5

議会案内、行政視察の受入実績 P14

（シリーズ）

松江の元気なこどもたち㉛

「いらっしゃいませ～！あてくじやさんへようこそ！」
－やくも幼保園－

5歳児が楽しんでいるお店屋さんに、0歳児から4歳児のこども達が遊びに行きました。「くじをひいてください」「おおあたり～！」「どれにしますか？」と楽しいやりとりと笑顔が見られ、ぽかぽかはーとがいっぱいになりました。 〈取材：たちばな委員、小澤委員〉

第62号　発行日：令和7年3月1日　発行：松江市議会　編集：議会広報等委員会

11月定例会

令和6年11月26日～12月18日

宿泊税条例、伝統的建造物群保存地区保存条例、手話言語条例、新庁舎建設の建設資材価格の上昇への対応、災害復旧対策などを審議

今議会は、市長提出議案123件を審議し、すべて原案どおり可決・承認・同意（全会一致117件・賛成多数6件）しました。また、諮問2件、議員提出議案3件について審議・議決（可決5件）しました。

一般質問には24人の議員が立ち、市長の政治姿勢、松江駅前デザイン会議、島根原発2号機再稼働、子育て支援、再生可能エネルギー条例などについて、市長はじめ執行部の見解を問いました。

令和6年度松江市一般会計補正予算（第7号）　26億6,322万円増

1．観光振興、ワーク・ライフ・バランス、子育て支援
　宿泊税に対する理解の促進と円滑な導入　824万円
　温泉ゆったり産後ケア事業の拡充など　279万円
2．自然・環境、安心・安全・社会資本整備
　「まつえ水素活用協議会」の設置　187万円
　新庁舎建設にかかる建設資材価格の上昇等への対応　1億3,985万円
3．災害復旧
　災害復旧にかかる事業　1億3,812万円
4．その他
　私立保育園運営費など　8億6,789万円
　財務調整にかかる補正　18億905万円
　令和5年度補助採択に伴い不用となった事業費の減額　▲3億459万円

※このほか、松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業費として、令和7年度までの期間で150万円の債務負担行為（次年度以降も支払いを約束すること）を設定。

令和6年度松江市一般会計補正予算（第8号）　7億2,348万円増

1．給与条例等の改正に伴う人件費等の補正
　職員人件費、議会関係経費、公民館関係費など　7億2,348万円

審議した議案等		
市長提出案件		123件
内訳	条例案件	12件
	一般案件	62件
	予算案件	20件
	承認案件	1件
	同意案件	28件
諮問		2件
議員提出案件		3件
陳情		4件
合計		132件

令和6年度予算の概要
（松江市ホームページへ）

条例の制定・改正（主なもの）

松江市宿泊税条例の制定について

国際文化観光都市としての魅力を高め、持続可能な観光地として発展していくための施策に要する費用に充てるため、宿泊者1人1泊につき200円を課税するもの。

松江市伝統的建造物群保存地区保存条例の制定について

伝統的建造物群保存地区の決定、保存のため必要な措置を定め、文化的向上に資することを目的とするもの。

松江市手話言語条例の制定について

手話への理解と普及に関する基本理念を定め、障がいの有無にかかわらず、互いに尊重し支え合い、安心して暮らせる共生社会の実現を目的とするもの。

議員提出案件の審査結果

件名			結果
議員提出議案	第8号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案	第9号	地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案	第10号	質の高い公教育の再生及び教育予算の増額実現に関する意見書について	原案可決（全会一致）

常任委員会報告〈主な審査内容（質問に対する市の答えを掲載しています。）〉

総務委員会…議案14件「原案可決」・諮問2件「可決」、陳情1件「不採択」　（12/5開催）

松江市宿泊税条例の制定について

- 令和6年4月から実施した宿泊事業者説明会を通じて、宿泊事業者の理解は得られているものと承知している。隠岐の町村からの要望については、隠岐からの宿泊者のうち、おおむね45％が5,000円未満で宿泊されている実態があり、5,000円の免税点をもうけることで理解をいただいていると考えている。

（仮称）中海スポーツパーク多目的広場整備工事の請負契約締結について

- 年間6万人の利用者を想定している。施設管理は当面委託し、周辺の利活用を含めて適切な管理体制を検討していきたい。

教育民生委員会…議案46件「原案可決」、陳情1件「不採択」　（12/6開催）

松江市手話言語条例の制定について

- 手話言語条例を制定するにあたり、ろうあ連盟の皆さんは非常に喜んでおられる。今後この条例を市民や事業者へ理解いただくため、イベントや手話教室、事業所へのパンフレット配布に取り組む。

松江市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- 職員の配置基準上算入することができる特例の延長については、現在全国的に幼稚園教諭免許または保育資格のいずれかの保有が多いことから、特例の延長をしたものである。市内18施設の副園長、教頭については、両方の免許を取得しているが、その他の教諭436名については、410名が両方の免許を取得している状況である。

経済委員会…議案14件「原案可決」　（12/9開催）

指定管理者の指定について

【対象施設：松江市玉造温泉ゆ～ゆ及び松江市玉造温泉供給施設】

- 令和5年秋に燃料価格の高騰により利用料金を引き上げ、現在は黒字経営で進められている。現時点で公共施設適正化計画に変更はないが、令和5年度に用地を市で取得したため、状況が変わったと認識している。

【対象施設：松江市美保関海の学苑ふるさと創生館及び松江市美保関温泉施設】

- メテオプラザの老朽化については、フェリーターミナル機能もあり、建物の状態を詳しく把握するための調査結果を島根県と情報を共有するところである。今後は、地元の声を聞きながら県とともに施設の在り方や方向性の検討を行っていく。

建設環境委員会…議案5件「原案可決」、陳情1件「不採択」　（10/15陳情審査、12/9現地視察、12/10委員会開催）

財産の取得について（小型多目的作業車を取得）

- スノープラウ付小型多目的作業車は、歩道の除雪基準である20㎝程度の積雪ならば問題なく除雪できる。また、除雪と路面清掃以外の機能として、芝刈りなどを行うことができる。

松江市手数料徴収条例の一部改正について（盛土規制法による宅地造成等工事の許可申請手数料を新設）

- 盛土を行う区域は、土地所有者全員の同意が必要になる。許可申請に当たり、近隣住民への事前説明も求めることになるので、周知されずに盛土が行われることはないと考えている。
- 新たな許可事務となるので、農地転用などの類似事例を参考に想定すると、年間120件程度の許可申請があると予測している。

【現地視察】
市道西尾大井線関連大橋川改修工事を視察

予算委員会…議案16件「原案可決・承認」　（12/13開催）

令和６年度松江市一般会計補正予算（第６号）　令和６年度松江市一般会計補正予算（第７号）

総務分科会（12/5）

●質疑のあった項目	①職員の病気休職者の状況とその対応について　ほか
●執行部の答弁	①令和５年度において特にメンタル不調を理由として病気休職に至った職員が13人、病気休暇を取得した職員が31人おり、若い職員が病気休暇や休職に至るケースが近年増えている。新規採用職員には、各職場において先輩職員をＯＪＴトレーナーとしてサポートにつけて、職場や業務に慣れてもらう対応をしている。

教育民生分科会（12/6）

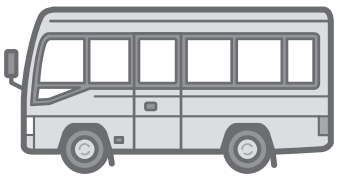
●質疑のあった項目	①生徒指導サポート推進事業費の「いじめ調査委託料」について ②生活保護扶助費の増加理由について　ほか
●執行部の答弁	①今年度発生したいじめの事案について、本来、必要な場合は教育委員会の附属機関であるいじめ問題対応専門家会議による調査を行うこととしているが、被害児童・保護者の要望を踏まえ、今回の調査については外部の第三者と委託契約を結んで依頼することとし、その委託に要する費用を計上するものである。 ②扶助費の増加については生活保護世帯数が増えていることが要因であるが、特に高齢者世帯が半数を占めており、高齢者の医療費が大きく影響していると考えている。

経済分科会（12/9）

●質疑のあった項目	①移住支援事業について　ほか
●執行部の答弁	①東京一極集中を是正するため、松江市に移住を考える後押しとなるよう、ＵＩターンフェアに職員を派遣し説明している。補正予算の内訳は、支援金60万円の単身移住が３件、支援金100万円の世帯移住が６件、子育て加算３人分で合計1,080万円を見込んでいる。

建設環境分科会（12/10）

●質疑のあった項目	①ＡＩデマンドバスの運賃決定の手順について ②外出支援事業の申請状況について　ほか
●執行部の答弁	①運賃の見直しに当たっては、住民の代表、運行事業者、運輸局、市で構成する運賃協議会での協議がととのった後、運行事業者が運輸局に届出を行う。地元の理解を得ることが重要だと考えており、既に宍道地区や八雲・忌部地区で運賃の見直しの話をしているが、より具体的な内容をこれからしっかりと説明し、進めていきたい。 ②外出支援事業は、主に65歳以上で構成される団体や障がい者の団体などが福祉目的事業や公的行事に参加される際に、貸切りバス運賃の一部を補助する制度である。令和５年度は398件の利用があり、令和６年度は11月末現在で427件の申請があった。



令和６年度松江市一般会計補正予算（第８号）ほか議案13件

- 松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

　討論では「市民の暮らしが一層厳しさを増しており、市長を含む特別職の給与を引き上げることに市民の理解は得られないと考え反対」「特別職も物価高騰の影響を受けており、低所得の方などについては国や自治体においてこれまでも手当がされていることから、賛成」「人事院勧告の引き上げに準じており、賛成」との意見があり、採決では賛成多数で可決されました。

まちづくり対策特別委員会 視察報告

～新しい交通機関と駅周辺のまちづくりについて～

令和6年10月16日～10月18日
委員長　岩本　雅之

【栃木県宇都宮市】 宇都宮ＬＲＴを中心としたまちづくりについて
【福島県福島市】 福島駅東口地区市街地再開発事業について
【栃木県栃木市】 歴史的町並み・伝統的建造物群の保全について

宇都宮市では、東西方向の基幹公共交通として従来の路面電車よりも低床でデザイン性、快適性に優れた宇都宮ＬＲＴ（ライトライン）が令和５年８月に開業しました。説明のあと実際に乗車し、軌道や停留場などの整備状況を視察しました。乗降口は高さ30cmで、車椅子の方の乗降もスムーズに行える設計となっており、ＬＲＴを中心に、相互に補完するバス路線を再編するなど「階層性のある公共交通ネットワーク」の構築が進められていました。

福島市では現在、福島駅東口地区の再開発事業を行なっています。商業施設だけでなく、住宅、駐車場、市施設などを備え、拠点とするための計画が進められていました。資材価格の高騰などにより計画を見直す必要もあり、市民や事業者など関係者の意見を求めながら検討を進めていました。

栃木市は江戸時代から宿場町として栄え、蔵造りの町並みが現在も残っています。「歴史的町並み景観形成要綱」を策定し、建物について、蔵に合わせて基調色を黒や白にしたり、高さを10ｍにするなど様々な修景が図られていました。

今回視察した各市の取り組みは、公共交通、駅前開発、そして歴史ある景観の保全など、現在の松江市を取り巻く課題を考える上で大変参考となりました。

〈蔵の町並みについて視察（栃木市）〉

松江市総合計画特別委員会　（12/11開催）

令和５年度の松江市総合計画の実施状況の概要

政策部より「「ＭＡＴＳＵＥ　ＤＲＥＡＭＳ 2030」の５つの基本目標、18の基本施策「2030年の市民の実感」を掲げ、重要業績評価指標（ＫＰＩ）を用いて評価を行っている。ＫＰＩの107項目のうち、評価を行ったのは101項目で、達成率80％の項目が74項目あった」との報告があり、未達成の項目について今後の取り組みなどの説明がありました。また、松江市総合計画審議会における審議会委員の主な意見、松江市の人口動態について報告を受けました。

松江市総合計画審議会
（松江市ホームページへ）

松江市ＳＤＧｓ未来都市計画の進捗状況

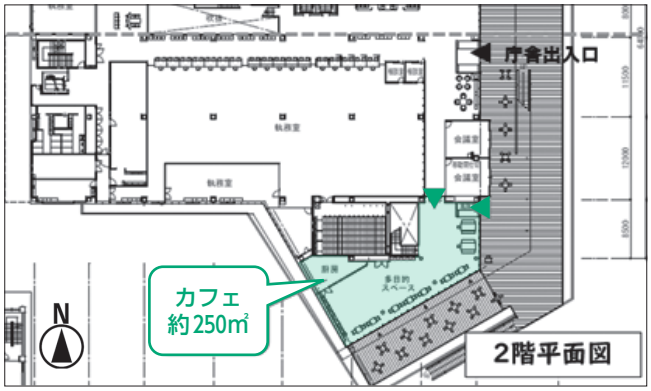
政策部より「施策のＫＰＩ評価として45の指標を設定しており、全体としておおむね順調に進んでいる。行政施策にＳＤＧｓの視点を盛り込むことについて、庁内の理解や体制整備は進展が見られたが、理解については71％に留まっており、令和６年度に全職員研修など更なる啓発を進めている。市民アンケートでは13.2％の市民がＳＤＧｓを全く知らないと答えており、出前授業や啓発イベント、ＳＮＳなどを活用していく」との報告がありました。

新庁舎建設特別委員会　（12/12開催）

新庁舎整備工事とテナント設置及びオフィス環境整備に向けた取り組みについて

財政部より「新庁舎２期棟工事は12月中旬頃に地下部分の工事を終え、令和７年５月頃までの鉄骨工事へと進んでいく。また、庁舎に入るカフェや売店等の設置に向けては、事業者に行ったサウンディング調査の結果を基に令和６年度中に事業者を決定したい。あわせて、働きやすい職場環境を目指し、若手職員によるワーキンググループや職員への意見募集により、オフィスレイアウトの検討、什器選定、会議等の運用ルールの見直しに取り組んでいる」との説明がありました。

委員からは、カフェのイメージや営業スペース、利用できるトイレの場所についての質疑のほかに、ワーキンググループの意見を広く共有することや、オフィス環境整備に向けては働き方改革も含めて考える必要があるなどの意見がありました。



〈新庁舎２階平面図〉

令和6年11月定例会の議員別表決結果

賛否の分かれたもの

議案等番号	案　件　名	委員会の審査結果	志翔の会						
			中村ひかり	村松りえ	岩本雅之	川島光雅	石倉徳章	石倉茂美	南波巖
市長提出議案									
議　第 163 号	松江市宿泊税条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第 168 号	松江市高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料の徴収に関する条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第 233 号	令和６年度松江市一般会計補正予算（第７号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第 244 号	松江市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第 245 号	松江市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議　第 246 号	令和６年度松江市一般会計補正予算（第８号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案									
議員提出議案 第8号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	委員会付託省略	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情									
陳情　第 60 号	「南殿町に建設中の19階建てタワーマンション」について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情　第 63 号	消費税率５%以下へ引き下げを求める意見書について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情　第 64 号	安定ヨウ素剤の事前配布率を上げるために新潟方式の導入の検討を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○

陳情審査結果

不採択となったもの

請願・陳情についてはこちら
（松江市議会ホームページへ）

陳情 第60号	「南殿町に建設中の19階建てタワーマンション」について	（陳情者） 松江城周辺地区町内会 北堀町三区町内会　会長　林　文章 お城とまちづくりを考える会 代表　石原　幸雄
	（委員の意見：建設環境委員会） ・市が事業者に高さを下げることを依頼し、受け入れられないことが分かったからこそ、市議会として松江城近くに高層マンションが建つことは、景観にふさわしくないことを示すべきであり、採択すべき。 ・今回のマンション建設は、現景観計画の中で申請・協議され、関係法令など全てクリアして進められており、法令を守ることは重要であると思っている。手順を踏んで見直しを進めている最中であり、不採択とすべき。 ・松江市が金銭的補償を持って減築等の交渉をしないこと、事業者の建築申請に法的問題がなく、市も現行法に基づき許可を出したものであるので、不採択。 ・事業者側も一貫して計画通り進めるという方針である。当初の時点で何らかの対策がとられていればと思うが、今後の交渉の進展がないと判断され、不採択とせざるをえない。 ・適正手順を踏んで進められた民間の事業であり、これに対し議会が反対をすることは極めて不適切な判断であると思うので、不採択にせざるをえないが、あの場所に建物が建つことは非常に残念でならない。この機会に新しい基準作りに着手しているということなので、しっかり議論をしていただきたい。 ・市から事業者への要望結果や事業者の考え方を鑑みて、議会が反対を示しても高さを見直す保証もなく、解決が見込めないこと、法令に抵触しておらず買取額が分からない状況で、仮に損害賠償が生じたとしても責任をとることが困難ではないかということも踏まえ、不採択。	
陳情 第62号	レプリコンワクチン中止などの意見書の提出を求める陳情	（陳情者） 市民に開かれた松江市議会を応援する会 古志　千樹
	（委員の意見：教育民生委員会） ・健康被害の周知や救済制度について、ホームページや医療機関などで伝えていると分かったため、不採択。 ・松江市内にはレプリコンワクチンの流通が無く、中止の必要は無いとのことから、不採択。	

この表は電子表決の集計結果に基づき作成しており、賛否が分かれた議案等について結果をお知らせします。

※QRコードを読み取っていただくと全議案の議員別賛否についてご覧いただけます。

○：賛成　●：反対　議：議長　除：除斥　空欄：欠席、不在等

賛否状況																								議決結果
松政クラブ							明政会						民主ネットワーク				公明クラブ				共産党市議団		無会派	
小澤一竜	原田守	野々内誠	吉金隆	森脇勇人	三島良信	三島進	三島明	細木明美	米田ときこ	柳原治	森脇幸好	立脇通也	山根宏	森本秀歳	津森良治	川井弘光	海徳邦彦	太田哲	長谷川修二	田中明子	たちばなふみ	舟木健治	錦織伸行	
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	不採択
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	不採択
○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	不採択

※議員の賛否の状況は、委員会の審査結果に対する賛否となります。
※委員会付託を省略した議案は、原案に対する賛否となります。

陳情第63号	消費税率５％以下へ引き下げを求める意見書について	(陳情者) 松江民主商工会 会長　諸遊　克巳
	(委員の意見：総務委員会) ・消費税を5%にすれば消費が喚起され、経済の好循環に流れると考えられる。また、国の税収も３年連続増収であることから、採択。 ・近年の諸物価高騰の中、消費税率10%の負担は厳しいものがあるが、ますます増大する社会保障の安定財源として必要である。本市においても、令和６年度予算で、地方消費税交付金が49億円であり、消費税率を引き下げた場合、本市の社会保障施策に大きな影響が出ることが考えられ、現時点での引き下げには反対であることから、不採択。 ・引き下げによる効果より影響が大きいと考えられ、不採択。 ・今まで実施している子育て支援や福祉支援施策は財政上厳しい状況にあり、消費税率を下げれば、地方財源の負担は一層厳しくなることから、消費税率を下げることはできないと考え、不採択。	
陳情第64号	安定ヨウ素剤の事前配布率を上げるために新潟方式の導入の検討を求める陳情	(陳情者) 原子力防災を考える県民の会 代表　山中　幸子
	(委員の意見：島根原子力発電対策特別委員会) ・柏崎市を見ても、40歳未満の対象者のうち25.6%の方に配布ができている。そのうちの94%、4,999人の方が郵送で受け取りをされ、効果が出ている。郵送での配布を行う新潟方式により事前配布率を上げるということは、緊急時での安定ヨウ素剤の受け取りの負担を減らし、放射性ヨウ素に被曝することを予防または低減させる上で有効と考え、採択すべき。 ・UPZ内でも、市報をはじめ公民館、ホームページを含めて案内をされている。希望される方へは、手続を踏めば事前配布される仕組みが既にある。防災意識の向上が本質であれば、まずは安定ヨウ素剤の正しい知識を持ってもらうための案内、周知の工夫に努めることが重要だと考える。また、薬品の扱いでもあり、丁寧に事前配布されることも望まれる。よって、陳情者の考えは理解できるが、現段階では不採択。 ・本陳情は、PAZと同様にUPZの事前配布率を上げるために、新潟方式の導入の検討を求めるもので、現在島根県が定めた配布計画に基づいて島根県が実施をしている事業である。UPZ内の申し出をされた方についても、事前配布は行っており、松江市は市報、公民館等でチラシを配布し、広報、周知を行っている状況であり、本陳情は不採択とすべきと考える。なお、PAZ内の保有者数がまだ41%であり、まずはこの保有率を上げる必要がある。 ・申請方式で松江市としてしっかり対応されていると質疑で分かった。事前配布は個々の判断になるが、島根県においてPAZ、UPZの保有率を高める必要があり、この陳情の積極的な安定ヨウ素剤の事前配布の方法を検討してほしいという内容については、現段階では不採択とすべき。	

11月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい　24人の議員が質問

11月定例会では、12月2日、3日、4日の3日間にわたり24人が一般質問を行いました。
紙面の限りがあるため質問した議員本人が通告した項目の中から一つを選び、要旨をまとめたものを掲載しています。なお、写真右のＱＲコードを読み取っていただくと当日の映像をご覧いただけます。

石倉　茂美（いしくら　しげみ）
（志翔の会）

会派代表質問

- 次期市長選への立候補
- 総合体育館駐車場と周辺の道路整備
- （仮称）中海スポーツパーク整備事業
- ドッグラン
- **松江総合運動公園の整備**
- 農業問題
- 松江駅周辺の整備

質問　松江総合運動公園の野球場西側のため池を整備してはどうか

野球場の西側にある農業用ため池を埋め立てて、災害時の仮設住宅を建てる敷地や、大型ヘリコプターが降りる場所として整備してはどうか。

回答　引き続きため池として利用したい

奥山池については、公園内の景観を美しく保つ修景施設としての役割だけでなく、下流域の河川や水路の氾濫を防ぐため、洪水調整池としての機能も有していることから、引き続きため池として利用していきたい。なお、大型ヘリコプターの離着陸場について、この近隣では松江市営陸上競技場が活用可能であり、災害時の応急仮設住宅の建設場所については、本市の地域防災計画において、楽山野球場、県立プール跡地、学校のグラウンドなど、本市所有地を選定することにしている。

三島　良信（みしま　よしのぶ）
（松政クラブ）

会派代表質問

- 政治手法について
- ＪＲ松江駅周辺デザイン会議について
- 総合体育館周辺まちづくり検討会議について
- **地域公共交通計画策定の取り組み状況について**
- 市長の政治姿勢
- 兵庫県知事選挙について

質問　ＡＩデマンドバスの運賃値上げが試行運転前から説明されているのはなぜか

ＡＩデマンドバス運行は福祉事業を含み、宍道、忌部・八雲地区で10月から運転開始された。市民へ1年後に200円から500円に料金を改定すると試行運転前から説明されているのはなぜか。

回答　運行当初はコミュニティバスの料金を維持、その後受益者負担率25%で設定

市民の移動手段確保を主たる目的としてコミュニティバスを運行しており、ＡＩデマンドバスも同様に地域福祉の一端を担っている。市内のタクシー業者からは導入中止の要望もあり、他の交通サービスの水準を考慮して運賃改定する必要がある。運行当初は試乗しやすい環境とするため、コミュニティバスと同額の200円とし、2年目からは受益者負担率25%として算出した500円とすることをコミュニティバス利用促進協議会であらかじめ説明し、理解を得ている。

米田　ときこ（よねだ）
（明政会）

会派代表質問

- **中期財政見通しについて**
- 地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化について
- 適切な働き方及びコンプライアンスの確立について
- 上下水道管の耐震化等について

質問　スクラップ・アンド・ビルドした上で、聖域なく事業を見直すべきではないか

人口減少等により歳出総額が減少する中、当面100億円の公債費の返還が続く。身の丈に合った財政運営をするためにもスクラップ・アンド・ビルドした上で、新規事業をすべきである。IT化等により電算機器を多用する中で、超過勤務削減のため一般事務職を多数雇用しているが、今後聖域なく見直すべきと考えるが市長の考えを伺う。

回答　職員配置を最適化し職員数は現状を維持、事務事業の見直しは必須である

中期財政見通しにおいて、人件費の高止まりを見込んでいる。財政の弾力性低下や政策経費の財源確保が課題となってくる。令和6年度から5か年を計画期間とする定員管理計画では、職員配置の最適化を図り、今後5年間、職員数をほぼ現状維持にとどめる。事務事業の見直しは必須であり、今後も取り組んでいく。

津森　良治（つもり　りょうじ）
（民主ネットワーク）

会派代表質問

- 第50回衆議院議員選挙を振り返って
- **ＬＲＴと中心市街地の活性化について**
- 少子化対策について（分娩を巡る現状）
- こども性暴力防止法（日本版ＤＢＳ）について

質問　中心市街地の活性化策としてＬＲＴの導入を検討してはどうか

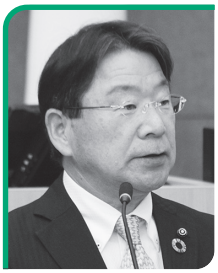
このたび、宇都宮市を訪れて、まちづくりの基軸に東西基幹公共交通として整備されたＬＲＴの車両や沿線上の開発状況を視察した。この調査を通じて、本市においても中心市街地の活性化策として導入することで都市構造に大きな変化を与える可能性を秘めているものと感じた。そこで、松江駅と松江しんじ湖温泉駅間の基幹交通として、ＬＲＴの導入を検討してはどうか。

回答　橋梁を利用する際の安全性、費用面など課題が多く実現は難しい

ＬＲＴの導入には、多くの課題があり実現は難しい。両駅とも重要な交通結節点であることから、路線バスをはじめとする交通手段により円滑に接続することは、市民や観光客の皆様の利便性向上はもとより、中心市街地の活性化に寄与するものと考えている。

〈宇都宮ＬＲＴ〉

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



会派代表質問

長谷川　修二（はせがわ　しゅうじ）
（公明クラブ）

- ハラスメントや職場のいじめについて
- 上定市長が珠洲市に行った感想と被災地支援の在り方
- ＡＩデマンドバスの通学利用について（定期、予約）

●公民館の機能強化について

- 水素を活用するための方策、他３件

質問　公民館に作業等ができる屋根付きのスペースを造り、機能強化をすべきでは

公民館の役割として、日頃は地域の方に訪れていただきやすく、教育や文化・芸術の活動が展開でき、また万が一の大規模災害の際には、その屋外が炊き出しやトイレ、入浴等の役割も担っており、防犯のためにも屋外に屋根付きの作業等ができるスペースを造って、機能強化をすべきであると思われるが見解を伺う。

回答　限られたスペースを有効利用する検討や被災地の具体例を研究していきたい

屋根付きの作業スペースについては、開設する指定避難所に応じて新たな構造物を常設できるか、限られたスペースを有効利用する観点も踏まえて検討する必要があるが、能登半島地震における被災自治体の対応など、具体的な事例を研究していきたい。

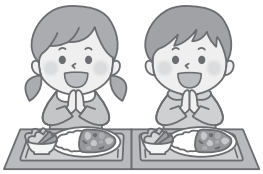
三島　進（みしま　すすむ）
（松政クラブ）

●生活困窮者について

- 松江駅前デザイン会議について

質問　満足できる食事と安心できる日常生活を実現するための取り組みは

ショートステイを利用するこどもから「ここでは明日も朝ごはんが食べれるのか」と尋ねられたとのことだが、生活困窮者にとって一番大切なことは、食事が満足に食べられるか、また精神的にも安心できるような日常生活を送れることと考えている。そのために、どのような努力をされているか。



回答　困窮する家庭の実態を把握し、支援につなげていきたい

ヤングケアラーの調査を小学校を通じ行っている。その回答で、際立って給食をおかわりする、朝御飯を食べてきていない児童がいる、といった回答があった。これらは一つの事例だが、そういった家庭を把握し支援に入るよう努めており、今後も機会を捉えて支援につなげていきたい。

岩本　雅之（いわもと　まさゆき）
（志翔の会）

●福祉人材確保対策について

質問　介護・障がい福祉の業務改善のアイデアを公募してはいかがか

介護・障がい福祉の業務改善を進めるために、「気持ちの良い入浴ケア」「清潔感のある排泄ケア」「喜びあふれる食事ケア」「充実した時間が共有できる夜勤体制」これら４点に特化した上で、商品の選択や開発、労働環境の改善など、新しい価値の創造に挑戦する事が大切である。松江市で革新的なアイデアを公募してはいかがか。

回答　収集・分析した官民の情報の提供等により、介護職員の負担軽減を支援していく

「入浴」「排泄」「食事」「夜勤」といった４点は、介助時に技術が求められ、身体的負担が大きいことから、業務効率化の必要性が高いものと認識している。厚生労働省をはじめ官民双方の事例を収集分析し、必要に応じて先進的施設を視察した上で、情報提供することから始め、介護職員の負担軽減につながるように支援していきたい。

三島　明（みしま　あきら）
（明政会）

- 松江固有の歴史や文化の掘り起こしを
- タワマン等、市内の開発をコントロールすることについて
- 松江市再生可能エネルギー条例について

●市民の皆様に身近なこと

質問　バス停への屋根・椅子の設置についてどのように考えているのか

松江市においても、バス運転手不足が深刻な問題であり、その確保について様々な努力をされているが、路線・ダイヤが見直され、今後もバス停での長い待ち時間が必要となる。今年の夏のような厳しい暑さは、特に高齢者、障がい者にとって大変過酷であるが、バス停への屋根・椅子の設置をどう考えているか。

回答　具体的な環境整備の検討を進める

乗り継ぎに当たっては、利用者に不便が生じないよう、路線バスの定時性の確保、運行間隔の短縮などに加え、屋根や椅子の設置を含めた待合環境の整備が必要と考えている。まず、乗降客数の多い主要交通結節点や乗り継ぎ拠点設置を検討中のバス停について、とりわけ学生や高齢者、障がい者の利便性を高めるため、具体的な整備について検討を進めていく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

田中　明子（たなか　あきこ）
（公明クラブ）

●不登校問題について
●水道耐震化について
●難聴対策について
●子宮頸がん予防について

質問　不登校児童生徒への支援・対応を伺う

配慮が必要な児童生徒がスクールソーシャルワーカーなど専門職の支援を受ける体制と、１人に１台配備されている端末を活用した相談体制の整備について見解を伺う。

回答　スクールソーシャルワーカー配置や１人１台配備した端末による相談を実施

令和６年度からオンライン学習支援「ボタンねっと」を実施し、小学５年生から中学３年生を対象に、授業や教科書に関する動画配信を行っている。また、社会福祉士、精神保健福祉士、教職経験者、元警察官など専門的な知識や経験のある11名にスクールソーシャルワーカーを委嘱している。このうち７名を７中学校区に配置し、小学校にも関わる体制としているほか、４名は未配置校へ派遣する。児童生徒からの相談について、各学校で教育相談やアンケートが行われており、これに１人に１台配備された端末を活用している。

森本　秀歳（もりもと　ひでとし）
（民主ネットワーク）

●製造業の振興

質問　製造業への支援について市長の考えは

市内事業所から、松江市は産業支援に偏りがあるのではという声がある。製造業をどのように位置付けているのか。厳しい経営環境下に置かれている製造業に対し、しっかりした支援が必要と考えるが、行政トップの考えを伺う。

回答　必要に応じて支援措置を講じていく

松江市として製造業は重要である。現在第５次ものづくりアクションプランを策定中であるが、現場の方々の肌感覚が反映される形にしたく、現場感を持って製造業の事業者とコミュニケーションを図り、良いものにしていきたい。また、製造業を取り巻く環境は、資材価格やエネルギー価格の高騰などにより非常に厳しいと認識している。県や商工団体等の関係機関と連携し、必要に応じて雇用維持や販路開拓等の支援措置を講じていきたい。

原田　守（はらだ　まもる）
（松政クラブ）

●転入者、特に海外の方に配慮した松江市家庭用指定ごみ袋のデザインについて
●松江水郷祭について
●総合体育館周辺エリア未来ビジョン（仮称）について

質問　指定ごみ以外の混入状況とそれに伴う困りごと及びごみ袋のデザイン変更について

指定ごみ以外の混入状況とそれに伴う困りごと及びごみ袋のデザインについて、市外からの転入者や海外の方にとっても分かりやすいものへの変更は可能か、さらに紙製容器用とプラスチック製容器用を分けることが可能か伺う。

回答　汚れた物の混入や火災のおそれ等がある。分かりやすいデザインへ変更を検討中

プラスチック製容器包装には、汚れた物や容器包装プラでない物の混入がある。スプレー缶の混入には火災事故のおそれがあり細心の注意を払っているほか、紙製包装容器には使用済みマスクやティッシュの混入があり衛生面で問題が生じている。現在、製造業者とデザインについても協議しているが、種別によるデザイン変更はコスト等の課題があるため、今回はごみの出し方・分け方の外国語版を掲載している本市ホームページのQRコードを掲載するなど検討している。

山根　宏（やまね　ひろし）
（民主ネットワーク）

●交通安全施設要望に伴い、実施計画した箇所の取り扱い及び情報提供について
●指定管理者における指定管理料の検討状況・方向性について

質問　各地区の要望への対応について伺う

「毎年同じ要望を出すけれど採用されない。出す意味があるのだろうか」との声を聞く。市の所見を伺う。

回答　優先度を設定し順次対応しており、継続的に要望していただきたい

交通安全の施設要望については、毎年度所管する関係機関が要望箇所の現地確認を行いながら順次対応している。その際には交通事故の危険性、あるいは交通量等を主要なポイントとしつつ、対応の優先度を設けざるを得ない。各地区にはお手数をおかけするが、必要な要望を継続的に提出するようお願いしている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

村松（むらまつ）　りえ
（志翔の会）

- 松江カントリークラブ跡地のメガソーラー建設
- **全天候型遊び場施設の開設**

質問　全天候型のこどもの遊び場を官民連携で作ってほしい

全天候型の遊び場施設は、子育てしやすい環境づくりの一環としてだけでなく、全世代の交流の場としてまちづくりに生かす試みが全国の自治体で取り組まれている。また、官民連携で行われている事例も少なくない。全天候型のこどもの遊び場づくりに対する市長の意気込みを伺う。

回答　子育て支援の一つとして他自治体の先進事例を調査し、前向きに検討する

「松江市総合計画-MATSUE DREAMS 2030-」においても雨の日でもこどもと遊べる空間を整備するということを子育て支援の施策の一つとして掲げている。引き続き他自治体の先進事例について事業手法も含め前向きに検討する。

錦織（にしこおり）　伸行（のぶゆき）
（会派に属しない議員）

- 太陽光ソーラーパネルの規制条例について
- 新型コロナワクチンの予防接種について
- **松江市の景観行政について**

質問　マンション建設に関する市長の発言について

市長は陳情提出者のいる北堀町はじめ、いくつかの地区で「自分は殿町の準タワーマンションには最初から反対だった。信じてください」「部下の不始末は自分の責任です」と発言したと複数の方から聞くが、それは本当か。そうであれば、ここで同じことをご明言いただきたい。

回答　公開を前提としていない場での個別のやり取りについての発言は差し控える

公開を前提としていない場においての個別のやり取りについての発言は差し控える。

野々内（ののうち）　誠（まこと）
（松政クラブ）

- **ＪＲ東松江駅周辺の開発について**
- 第５期ものづくりアクションプランについて
- 「年収103万円の壁」の見直しについて
- 島根原発関連人件費の中国電力の負担について

質問　松江市全体の大きな俯瞰した視点で考えるべき課題だが検討の考えはないか

東松江駅周辺は、整備がされずほとんど変化がない。利用者が少ないことは、増やすという取り組みの努力や駅を利用しやすい環境整備をしていない結果である。揖屋馬潟線に面した北側進入路などの整備が必要で、松江市全体の大きな俯瞰した視点で考える課題である。平成28年11月議会では、当時の松浦市長より「東松江駅は大切な資産であり活用の検討に取り組みたい」との答弁があったが、上定市長はどう考えているのか伺う。

回答　現時点では整備は困難だと考えている

駅進入路の整備には多額の費用を要することから、その整備効果があらかじめ相当程度見込まれることが事業着手の前提となる。近年の利用者数や、周辺の環境、土地利用の状況などを踏まえると、現時点で投資に見合う効果は期待できず、整備は困難だと考えている。

海徳（かいとく）　邦彦（くにひこ）
（公明クラブ）

- 止水板等設置補助金創設
- **市役所庁舎内貸出用ベビーカー配置**
- ふれあい収集（ごみ出し困難者支援事業）
- モバイルバッテリー等の処分

質問　市役所庁舎内に貸出用のベビーカーを配置すべき

子育て中の保護者の方に、こどもを連れていても安心して来庁してもらい、窓口での手続きをしやすいようするため、市役所庁舎内に貸出用のベビーカーを配置すべきと考えるが、見解を伺う。

回答　ベビーカーの配置に向けて具体的に検討していく

オンライン申請システム導入後も、直接窓口に来庁される方が一定数いることから、ベビーカーが必要な方も安心して来庁できるよう、ベビーカーの配置に向けて具体的に検討していく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

細木（ほそぎ）　明美（あけみ）
（明政会）

●島根原子力発電所２号機の再稼働を前に

質問　松江市における地域振興を今後どのように進めて行く考えなのか

立地自治体としての松江市における地域振興とはどういうものか。そして今後どのように進めて行く考えなのか。国や県、中国電力への働きかけはどのように行っていくのか伺う。

回答　必要なインフラ整備が速やかに進むよう「立地地域」の拡大を要望していく

立地自治体の地域振興は「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」に基づき平成14年に県が策定し、国が認定した計画を踏まえ県と連携のうえ取り組んでいるが、策定以来変更されず合併以降の状況が反映されていない。必要なインフラ整備を速やかに進めるため「立地地域」の全市域への拡大を引き続き国・県に要望していく。中国電力に対しては、市民にとって効果が実感できる地域振興策の実施を継続的に求めていきたい。

森脇（もりわき）　勇人（はやと）
（松政クラブ）

●原子力発電関係の補助金、交付金について
●来年度予算に向けた農業者支援について
●有害鳥獣対策について
●随意契約について
●メテオプラザについて

質問　補助金、交付金の交付を市で直接受けたいという思いはないのか

原子力発電関係の補助金、交付金について立地自治体以外の30キロ圏内を対象とした交付金や補助金が使えるようになった。事業への活用については本来、社会資本整備総合交付金や国土強靱化事業で配分されるもので、本市が望む事業に使える内容になっているとは思っていない。使い道について県に準じた活用というのは立地市の自由度、意向を妨げていないか。所見を伺う。

回答　制度改正も含め要望したい

普通建設事業を中心に本市で選定を行い申請したもので自由度を妨げたとまでは言えない。本市は原発立地市であり県庁所在地である。現状では県を通じて交付されている様々な交付金、補助金があり、これらについて市民が地域振興を実感できるよう、直接交付されるような制度改正も含めて引き続き要望していきたい。

中村（なかむら）　ひかり
（志翔の会）

●建設業の働き方改革
●伝統的酒造りのユネスコ無形文化遺産登録
●夜間保育
●幼稚園・児童クラブへの配食サービス
●全天候型こども遊戯施設の必要性

質問　全天候型こども遊戯施設について市の展望を伺う

雨の日や暑い日にこどもが遊べる場所がないとお困りの声が多く、全天候型のこども遊戯施設の必要性を感じる。こども子育て部と都市整備部が岐阜県内の屋内遊戯施設を視察されたが、市の展望を伺う。

回答　先進事例を研究し、引き続き検討を進める

子育て世代だけではなく、こども自身のニーズもあると認識をしている。引き続き先進的な事例について聴取するなどし、検討を進めていきたい。

小澤（おざわ）　一竜（いちりゅう）
（松政クラブ）

●二地域居住の促進について
●特別交付税について
●30代の社会人口増について

質問　二地域居住促進の取り組みの必要性、制度の活用の考えはないか

今後、都市部と地方に拠点を持つという新しいライフスタイルの受け皿として松江市もしっかりと整えていくべき。地域が直面している空き家問題、コミュニティ再生、拠点施設の整備、一次産業など人材不足などの課題に対する解決策となるのではないか。この取り組みの必要性や今後の活用について伺う。

回答　地域交流の場づくりに寄与しているワーケーション事業などを充実強化する

ワーケーション事業の利用者からは、民間事業者によるテレワーク拠点が整備されていることや、地域交流の場づくりを行っていることが高く評価されており、これらの取り組みをさらに充実強化していく。制度活用については国の動向を確認し、検討していく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

舟木　健治（ふなき　けんじ）
（共産党市議団）

●不登校のこどもと保護者のニーズに基づいた不登校支援について

質問　こどもと保護者の声に基づく不登校支援や教育支援センター拡充について

令和５年度の全国の不登校児童生徒は11年連続で増加し、34万人超と過去最多となったが松江市はどうか。「不登校への偏見をなくしてほしい」というこどもの願いや、フリースクールへ通うための金銭的支援を望む保護者の声などに応える支援策、教育支援センターの拡充に向けての市の見解を伺う。

回答　ニーズを把握して問題解消につなげる。センターはあり方を調査検討する

令和５年度の不登校児童生徒数は721人で増加率は21.8％であった。保護者や児童生徒を対象としたアンケート調査を実施し、そのニーズを可能な限り把握し、問題の解消につなげたい。教育支援センターの拡充は、利用者の声やニーズに注視し、橋北、橋南それぞれへの設置も含め今後の運営のあり方を調査検討したい。

太田　哲（おおた　さとし）
（公明クラブ）

●松江市の景気状況について
●子育て支援について
●塩見縄手周辺地域の観光振興について
●地域の防災体制について
●高齢者のスマホ教室について

質問　高齢者のスマホ教室の現況と今後

スマホ教室について、松江市ではシルバー人材センターから派遣された講師により、令和３年度は国の事業として、令和４年度からは松江市出前講座「高齢者による高齢者スマホ教室」として公民館や集会所で開催されている。「まつえのるーと」の予約方法、詐欺被害防止アプリ登録など考えても良いと思うが、現状と今後の見解を伺う。

回答　毎年３００名以上が受講。まつえのるーと予約方法等を実施地域と連携する

令和４年度開始以降、毎年300名以上の方が受講している。本市の防災メール、公式ＬＩＮＥの案内、詐欺被害防止に向けたスマホを安全に利用するためのポイントを紹介しており、オンライン決済の仕方など、応用的な操作方法も要望に応じて対応している。あわせて「まつえのるーと」の予約方法については実施対象地域の公民館事業と連携して内容の充実を図っていきたい。

たちばな　ふみ
（共産党市議団）

●マイナ保険証と高すぎる国保料について
●だれもが安心の公共交通
●島根原発再稼働ゆるされない

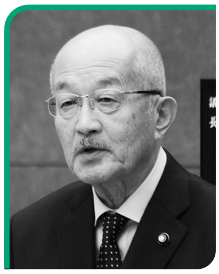
質問　12月7日に再稼働迫る中、市長の決意は

島根原発２号機の再稼働が迫っているが、能登半島地震以降、避難計画に対する市民の不安は高まっている。宍道断層と鳥取沖合断層の連動性、避難計画の実効性、使用済み核燃料の再処理工場の27回目の完成延期、中国電力の度重なるトラブル、繰り返す不祥事。20万人の市民の命と暮らし、財産を守る責任がある市長の決意を伺う。

回答　中国電力が市民にとって安心できる事業者か取り組みを注視

再稼働は安全運転が大前提で、市民にとって事業者が安心できる存在であることが重要と考える。今後も中国電力のトラブル再発防止対策の取り組み状況を注視する。

〈島根原子力発電所〉



立脇　通也（たてわき　みちや）
（明政会）

●合併20年を検証し、未来に向けた見解について

質問　新たな住民自治組織が必要ではないか

新たな住民自治組織が必要ではないか。支所がない市街地では、NPO法人やボランティアグループなどの団体、外国人も含めたあらゆる住民と行政職員、市議会議員などで構成し、住民自治と行政との案件を討議する場を持つようにしてはどうか。近代日本が生み出した「町内会」という世界で稀有な組織を根幹に置き、新しい住民自治組織ができることが理想であると思うがどうか。

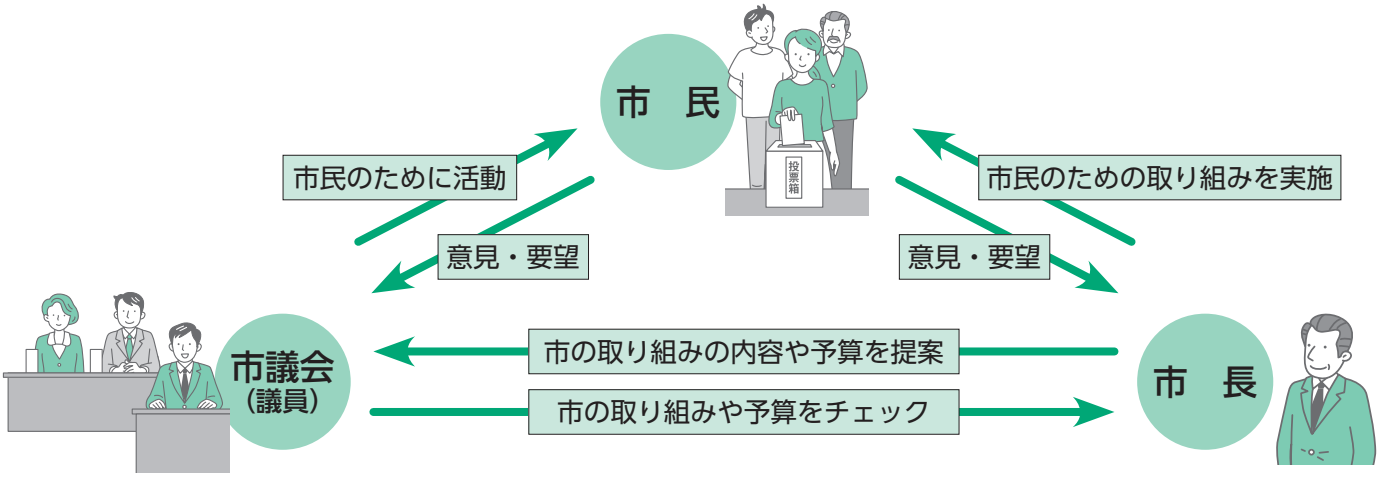
回答　従来の体制を再点検し、住民主体の取り組みを進める

人口減少や少子高齢化の進展により、地域コミュニティにおける人と人とのつながりが希薄化するなど厳しい状況にあり、地域づくりを担う組織の運営体制を見直す必要がある。新市誕生20周年を迎えるのを機に、従来の旧市、旧町村、29公民館区などの地域割りに応じた体制を再点検し、住民の主体的な取り組みを積極的に後押しすることで、共にまちづくりを進めていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

議会の仕組み（市民・市議会・市長の関係）

わたしたちが住んでいる松江市を今よりもっと豊かで、住みよいまちにするため、選挙で代表に選ばれた市長や市議会議員が互いに議論し、市政に取り組んでいます。



～議会を傍聴してみませんか？～

「傍聴」とは？

議会の様子を議場で直接見たり聞いたりすることです。松江市議会では、小さなお子さんも一緒に安心して傍聴できる親子傍聴席や、補聴器をお使いの方向けにヒアリングループを備えています。

傍聴するためには？

①エレベーターで庁舎５階へ
※議場入り口にて職員がお声がけいたします

②受付票を記入

③空いている席で静かにご覧ください

行政視察の受け入れ実績について

松江市議会には、市の施策に関心を持っていただいた全国各地の議会から行政視察に来ていただいています。令和６年12月末時点の主な受入実績は、下記のとおりです。

	テーマとなった松江市の取り組み
札幌市議会	AIデマンドバス「まつえのる～と」
八王子市議会	Ruby City MATSUEプロジェクト
山形市議会	職人商店街の取り組み
江東区議会	Ruby City MATSUEプロジェクト
日立市議会	脱炭素先行地域・松江市の取り組み
伊東市議会	発達・教育相談支援センター「エスコ」の設置の経緯

令和５年度は、19件、161人の他市の議員や職員が視察に来られました。

調査項目の上位として、「Ruby City MATSUEプロジェクト」・「MATSUE起業エコシステム推進事業」・「商店街活性化の取り組み（職人商店街）」・「こども子育て支援事業」などがありました。

〈担当課により説明する様子〉

過去の視察受入実績は、松江市議会ホームページでご覧いただけます。

〈松江市議会ホームページへ〉

「議員連盟」の活動

松江市議会では松江市の重要施策について、会派を超えて多くの議員が連帯して様々な議員連盟を作っています。地域課題の解決に努め、幅広く研修、研究を行うほか、国への要望活動等を行っています。

山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟

山陰地方への新幹線整備に向けての調査研究、国・県への要望や意見交換を行っており、令和５年度には国土交通省を訪れ直接斉藤大臣（当時）に整備計画格上げの要望などを行いました。

境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟

８の字ルートの一部を形成する境港出雲道路（松江北道路）は、災害に強い国土幹線道路として位置づけられています。その早期完成に向けて、令和６年11月に国土交通省及び山陰両県選出国会議員に、両県知事と関係市長とともに予算増額の要望活動を行いました。

〈関係者とともに要望書を提出〉

国際文化観光都市松江市議会観光振興議員連盟

松江市にとって観光産業は代表的な産業のひとつです。国際文化観光都市として、観光に関わる調査研究を行うとともに、具体的な施策を提案しています。

お城を守る松江市議会議員連盟

国宝松江城を守り、調査研究を行うとともに、その価値を保存、発信するための活動を行っています。

令和７年度は「国宝指定10周年」にあたり、式典や史料の保存・整理を進め「世界文化遺産登録」を目指して活動を行っています。

今後のペーパーレス化に向けて

議員の活動がよりスムーズに

年４回の定例会や臨時会のたびに、議案・予算などの資料が印刷され、議員に配付されます。特に、予算審議がある２月、決算報告がある９月は印刷資料が増えます。また、市議会事務局からの連絡は、メールおよびＦＡＸを活用しながら、紙面も配付して各議員への連絡をされていました。

議会のペーパーレス化への取り組みとして、令和６年４月からタブレットを議員へ貸与して使用方法などの研修を行い、令和６年６月定例会からは紙の資料を併用しながら本格的にタブレットを活用した議会運営を進めています。

市議会事務局からの連絡手段については、アプリ「ＬＩＮＥＷＯＲＫＳ」を活用し、タブレットにより連絡、報告ができるようになりました。今後も議論を重ね、できるものからペーパーレス化を進めていきます。

〈年間、各議員に配付される資料の一部〉

「松江市議会レポート」を配信しています

松江市議会では、テレビ番組「松江市議会レポート」を企画し、ケーブルテレビで放送しています。令和６年11月公開のレポートでは、議長・副議長による議会についてのご案内、そして総務委員会、教育民生委員会、経済委員会、建設環境委員会、決算特別委員会における議会での議論や意見を分かりやすく委員長が報告しています。ＱＲコードよりYouTubeチャンネルにアクセスしていただき、ぜひご覧ください。

議会活動の様子は、「市議会だより」や松江市議会ホームページでお知らせしているほか、本会議での一般質問はケーブルテレビで放送し、インターネットでの同時配信も行っています。

〈マーブル公式 Youtube チャンネルへ〉

第14回 全国原子力発電所立地議会サミットに参加

10月31日（木）から11月1日（金）の2日間にかけて、「第14回 全国原子力発電所立地議会サミット」が「GX実現に向けたエネルギー政策～原子力発電と立地自治体の在り方を考える～」をメインテーマに東京で開催され、松江市議会からは議長をはじめ、島根原子力発電対策特別委員会の委員など14名の議員が参加しました。

1日目は、経済産業省大臣官房エネルギー地域政策統括調整官 佐々木 雅人氏を講師に迎え、基調講演「エネルギー・原子力政策について」が行われ、その後、5つに分かれた分科会では、「原子力政策と地域振興」「脱炭素社会における原子力発電」「原子力防災体制と避難計画」「核燃料サイクルと使用済核燃料の中間貯蔵最終処分」「廃炉計画と次世代革新炉の研究開発」の課題に関し活発な議論、意見交換が行われました。

2日目は、各分科会からの報告を受けた後「次世代に負担を先送りすることのないよう、国が率先して最終処分地の選定を進める」「立地自治体としてこれまで原子力発電所の再稼働、使用済み核燃料の中間貯蔵、高レベル放射性廃棄物の最終処分場に関することなど、国策へ貢献してきている。その取り組み・苦労が報われるエネルギー政策の実現を切望する」ことなどを確認する立地議会サミット宣言を採択して、閉会となりました。

〈サミットの様子〉

2月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
2	25	火	本会議（会期の決定、提案説明）
3	3	月	本会議（一般質問）
	4	火	本会議（一般質問）
	5	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	7	金	予算委員会（質疑、分科会分担・委託）
	10	月	総務委員会・予算委員会総務分科会 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	11	火	総務委員会・予算委員会総務分科会 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	12	水	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	13	木	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	17	月	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	19	水	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

（議会事務局 TEL 55-5432）

議長の公務（主なもの）

10/ 2：松江市議会研修会
10/ 9～10/10：第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡
10/13：ニューオリンズ市友好都市提携30周年記念式典
11/ 5～11/7：珠洲市訪問
11/21：中海・宍道湖圏域市議会議長会島根県知事要望
11/25：松江市戦没者追悼式
1/11：消防出初式

〈消防出初式で挨拶する吉金議長〉

編集後記

11月定例会では、24人の議員が一般質問に立ち、松江市政について様々な観点で議論を深めました。また「松江市手話言語条例の制定について」をはじめ多くの議案が上程され4つの常任委員会と予算委員会で審議されました。分かりやすくまとめましたのでどうぞご覧ください。

さて、議会広報等委員会も8名で取り組んでまいりましたが、現在の委員での編集は次号の2月定例会分で最後になります。今までありがとうございました。なお、今後とも皆様に親しんでいただける議会だよりを目指してまいりますので引き続きよろしくお願いします。　議会広報等委員　三島　明

「市議会だより」への皆さんのご意見をお寄せください
〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）
電話（0852）55-5053　ファックス（0852）55-5533
議会事務局メールアドレス　gijji@city.matsue.lg.jp
松江市議会